

## 【へブル人への手紙7章】

「したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。」(7:25)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.6.16 No.741

### 今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。  
地よ。聞け。私の口のことばを。  
私のおしえは、雨のように下り、  
私のことばは、露のようにしたたる。  
若草の上の小雨のように。  
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、  
栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。  
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

神様は私達人間が近づくこともできない聖いお方です。にもかかわらず、身を低くして、人間の形をしてこの世に降り、しかも私達の罪をその身に負うて十字架で死んでくださいました。リビングバイブルにはこのように記してあります。「ご自分を通して神様のもとに来る人々を、一人残らず、完全に救うことがおできになります。永遠に生きておられるイエス様は、いつも神様のそばで、ご自分の血によって彼らの罪が帳消しになっていることを、神様に思い起こさせてくださるのです。～祭司は、神様の前に出る時、まず、自分の罪をきよめる為に、そして人々の罪の為に、毎日、動物のいけにえの血を捧げる必要がありました。しかし、キリスト様には、その必要が全くありません。なぜなら十字架にかかって自分をいけにえとして捧げ、ただその一度の行為で、すべてを成し遂げてしまわれたからです。～神様は～自分の一人息子という完全なお方を、永遠の大祭司に任命されたのです。」この章では、アブラハムが多くの王たちとの戦いに勝って凱旋した時、戦利品の十分の一をメルキゼデクに捧げたことが記されています。彼は出迎えてアブラハムを祝福したサレムの王、祭司ですが、きたるべきキリストの型でした。

アブラハムとメルキゼデクの事を通して、十分の一の捧げものの事を考えてみましょう。私達の受ける恵みは全て神様からきていますが、その中でも十分の一は特に神様の物です。(マラキ3:8～10) ですから十分の一“献金”は本当は“返金”なのです。神様は捧げた十分の一は勿論の事、溢れる恵みを霊的に実際的に下さいます。マラキ書3:10には「こうしてわたしをためしてみよ。」と言われています。

韓国の今は亡き“ハレルヤおばさん”はこの聖書のお言葉を教える時、教会員の家に行くときあまり貧しいので、自分がその人たちにお金をあげたいと思ったほどでした。しかし、もしそうするならば、その人たちはこの真理を体験できないと心を強くして、どんなに貧しくても、借金している人にも、先ず十一献金を神様にお返しするように導いたそうです。そのようにして一人一人が生きておられる神様を体験し、信仰が確立して、開拓の教会がどんどん祝福されて、世界一の教会になったことを聞きました。パウロ秋元牧師も、若い時に、捧げもので厳しい訓練を受けたことが、今の信仰の土台になっていることを証しされています。捧げる事は信仰と深いかわりがあるのです。私もクリスチャンになってずっと十一献金を守っていますが、その恵みは計り知れません。「あなたの宝のある所には、心もあるからである」(マタイ6:21)。

初臨の時は預言者としてイエス・キリストは来られましたが、今は祭司としてとりなしおられ、やがて再臨の時は王の王として来られるお方です。「確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。」様々な問題が許されますが、困難や試練を受けている人達の為に、祭司としてとりなしおられるイエス様を覚えて下さい。今は恵みの時です。しかしそれは永遠に続くものではありません。問題を通して神様に近付けられ、聖霊に満たされ、家族親族、友人知人が救われるために、感謝と賛美をもって更に通り善き管となって参りましょう！

♪今ぞ今ぞ 主の恵みの日は今ぞ 救いの時の過ぎゆくかぬ間に

来たり救いを受けよ♪(聖歌412)

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。